

**【小学校生活科における活用案】**  
**「ぐんぐんのびろ・上下」における活用について**

～基本的な考え方～

本案は、小学校学習指導要領生活科の内容項目(7)「地域と生活」、(5)「季節の変化と生活」、(7)「動植物の飼育栽培」を受けて構成されており、以下の目標に迫るため、「ひむか学」ホームページを活用する基本的な学習の流れを示している。(全20時間程度)

- ・ 収穫への期待をもって意欲的・継続的に世話をしようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 植物の育て方をいろいろな方法で調べ、種や苗に合った世話をし、それらの成長を自分なりの方法で観察したり表現したりできる。(思考・表現)
- ・ 植物の世話についての苦労や収穫の喜びを知り、植物の生長と土や水、季節の変化などとの関わりに気付くことができる。(気づき)

児童の生活に根ざした生活科学習の実現に向け、ふるさとに点在する地域素材を教材として紹介することで、学習意欲を高めさせながら、郷土への愛情を育てていくことが期待できる。

学習の動機付けや発展など、指導者の意図や活用目的、児童の実態に応じて、各コンテンツを拡大したり、それらに適切な解説を加えたりすることで、さらに教育効果を高めることができる。

学習の流れ		「ひむか学」ホームページの活用例	
		ページ	活用とねらい
導 入	1 植物(花・野菜)を育てることについて話し合い、収穫への期待や見通しをもつ。 (1) 育てたい植物(花や野菜) (2) 種や苗の入手方法 (3) 協力者や調べる手段 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の体験をもとにしながら、それぞれの思いや願いを大切にする。</li> <li>・ 事前に植物に関する資料を収集しておき、必要に応じて提示する。</li> <li>・ 家族や学校、地域の人々などを視野に入れて調べる手段を見つけられるように助言する。</li> <li>・ 場合によっては、地域の人材リストや高年者の団体などで協力者を見つけ、協力を依頼しておく。</li> <li>・ 収穫の予定日を立てさせるなど、期待感をもたせ、収穫祭など楽しい見通しももたせておく。</li> </ul>	ひむか学の教材名	
		みやざきのくだもの・はな  宮崎の野菜・米・茶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知っている花について話し合う際、県内で一番たくさん栽培されている「スイートピー」を見せることで、植物への関心を高め、育てる活動への動機付けをする。</li> <li>・ 全ページにわたって掲載されているピーマン、きゅうり、かんしょ、大根などの映像を見ることで、宮崎でたくさん栽培されている野菜について知らせ、いろいろな野菜を育ててみたいという意欲づけを図る。</li> </ul>
展 開	2 土づくりをし、種まきや苗植えをする。 (1) 土づくりや花壇の整備 (2) 場所決め・植え方 (3) 片付け・観察・記録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植えた日や植物の名前をプレートに明記し、継続観察しやすいようにする。</li> <li>・ 天候に配慮するとともに、肥料の準備などを計画的に行っておく。</li> <li>・ 協力者と継続的に関わっていくことで、活動を広げる手段とする。</li> </ul>	宮崎の野菜・米・茶  リンク集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由にいろいろな野菜についての情報を得ながら、天候に合わせてビニールをかけるなどの工夫や苦労を学ばせる。</li> </ul>
	3 植物(花や野菜)の世話を続け、継続観察する。 (1) 世話の仕方(役割・方法) (2) 気づきの共有化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な人に聞いたり、本や資料で調べたりして、水やりや追肥、支柱立てなどの必要な世話に気づかせる。</li> <li>・ 体験したことなどを発表し合う場を設けることで、一人一人の活動の見届けを行い、意欲を高める。</li> </ul>	温暖な宮崎の気候がもたらした新しい農業～スイートピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育て方を調べる手段の一つとして活用させることで、育てる活動を充実させる。</li> <li>・ 生産日本一の理由について説明を加えながら映像を見せることで、植物がよい状態で生長するには日光や温暖な気候などが大きく関わっていることに気づかせる手だてとする。</li> </ul>
終 末	4 収穫をする。 (1) 協力しながらの収穫 (2) 収穫の様子や気づいたことのおまわり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 咲いた花を飾ったり、咲いた花を使った遊びを考えたりさせ、生長を実感させる。</li> <li>・ 野菜に関しては枯れたり虫に食べられたりなどの失敗も含めて認め、学級園の野菜を収穫させるなどして、みんなが収穫できるように配慮する。</li> </ul>	宮崎の野菜・米・茶(生産量日本一のピーマン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像を見せながらピーマンの生産者の話をする中で、宮崎の気候に適した野菜があることに気付かせたい。また一つ一つ丁寧に扱うところを見せ、収穫の仕方の参考にさせる。</li> </ul>
	5 収穫祭(パーティー)をする。 (1) 調理や祭りの計画・準備 (2) 収穫祭 (3) 感想の発表 (4) お世話になった人へのお礼状 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力者の方々を招待するなど、喜びを共有したり、お世話になった方への感謝の気持ちを表したりする場を設けることで、人との関わりを大切にしたい。</li> </ul>	宮崎人の夢と祈り(みやざきのおまつりとおどり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内のいろいろな地域に伝わる祭り(やごろうどんまつり、みやざきじんぐうたいさいなど)を見ることが収穫を祝う祭りへの意欲を高めるとともに、祭りのイメージを膨らませる。</li> </ul>